

## 大槌発

## 月命日 行方不明者捜索



東日本大震災の発生から7年1か月。このうち岩手県内で最も多い419人の行方が今も分からない

大槌町では釜石警察署員が吉里吉里地区の海岸で行方不明者の捜索をしました。先月末の県のまとめによりますと震災により県内では1115人が行方不明のままです。署員は砂浜を掘りおこしながら手がかりになるような物がないか丁寧に探していました。(4/11 ニュース)

## 東京発

## 絆まつりをオリ・パラで

盛岡さんさ踊りなど東北6県の夏祭りを一堂に集めて行われる「東北絆まつり」を東京オリンピック・パラリンピックの開会式などで披露したいと実行委員会が政府に要望しました。「東北絆まつり」は震災からの復興を願い、東北を持ち回りで開催された「東北六魂祭」の後を継ぐイベントです。夏祭りパレードが見ものとなっていて今年は6月2日と3日に盛岡で行われます。(4/11 ニュースエコー)



## 大槌発

## 市民団体が「質問状」

解体費用の予算が可決された大槌町の旧役場庁舎について、保存を求める市民団体が議会手続きなどに関し町に質問状を出しました。市民団体は町議会で可決された解体関連予算を当初予算と同時に「補正予算」として提案したのは地方自治法に抵触しているのではないかと質問の趣旨を説明しています。これに対し町は「質問状に回答するかも含め検討中」とした上で、議会での手続きについては「法的に何ら問題ない」という見解を既に示しています。(4/12 ニュース)



## 大船渡発

## 「赤崎グラウンド」完成

地域の人たちにサッカーやフットサルを楽しんでもらおうと、大船渡市赤崎町に人工芝の「赤崎グラウンド」が完成しました。このグラウンドは大船渡



高校出身で鹿島アントラーズ所属の小笠原満男選手らの呼びかけで集まった寄付金などが活用されています。きょうはサ

ッカー元日本代表の北澤豪さんも駆け付け、子どもたちと触れ合いました。(4/14 ニュース)

## 大船渡発

## 「FMねまらいん」5周年

大船渡市の「FMねまらいん」が開局から丸5年となり記念のイベントが行われました。住民の安否や支援に関する情報を届ける災害FMからより幅広い話題を伝えることができる、市民参加型の放送を目指してNPOを受け皿に5年前、コミュニティFMに移行しました。現在はパートを含め7人のパーソナリティが1日3回計8時間の生放送で地域に密着した情報を届けています。(4/15 ニュースエコー)



## 宮古発

## サケの稚魚を放流



本州有数の水揚げを誇るサケのまち宮古で、子どもたちがサケの稚魚を放流しました。サケが再び戻ってくるように「壮

行会」と名づけられた恒例行事です。子どもたちが川に放したのは宮古市の津軽石川で生まれたサケの稚魚およそ5万匹です。壮行会は今年で37回目。きょうは絶好の青空に恵まれ、参加した市内の保育園から中学校までおよそ220人の子どもたちはバケツに入ったサケの稚魚を何度も川に放していました。(4/17 ニュース)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122